

大石田町議会「行政調査」報告書

6. 8. 14

議 長	副議長	委員長	職・氏名 大石田町議会厚生産建常任委員 海 藤 義 則
期 間 令和6年7月9日(火)から 令和6年7月11日(木)まで 計3日間		出張先 戸沢村、秋田県藤里町社会福祉協議会、岩手県 ハロウ インターナショナルスクール安比ジャパン、西和賀町沢内庁舎	
用 件 大石田町議会厚生産建常任委員会 行政調査報告			
報 告 大 要			
最初に行った戸沢村について、 国保発祥の地という戸沢において、現"記念碑も見学し、 その後、村役場に移動し、戸沢村村議会、総務常任委員会、 議員さん方と、村長さん、副村長さんをおこなった交流会を 開いていただきました。村内蔵田地区の実状や、これまで取り組 みを説明していただきました。特に印象に残ったのが輪重提 建設です。内水処理面ではすごい事をしたと思いました。 我々が行った後に起ってしまった集中豪雨において、初動的には 機応が發揮されたと思われました。ただ、その後の最上川本流から 堤防越水と事態に対してという事態に対しての賛否両論 がある事も見逃せない事実と思います。			
二日目の秋田県藤里町社会福祉協議会について、 消滅可能性自治体という言葉言葉が最初に出て来た事に驚きも 隠せませんでした。当大石田町も同じと感じました。 特に藤里町で行っている「藤里方式」による活躍支援事業 「福祉でまちづくり」を合言葉に支援する人、される人を隔てない 一丸となって推進事業をしている事も非常にうべきと思いました。 特に、活躍支援事業(つまり高齢者及び長期不就労者及び在宅障がい者 等支援事業)地域ぐるみで支える場、誰もがキャリアアップ、キャリアチェンジ を目指せる場を目指して活動しているというすばらしい協賛会でした。			

三日目の岩手県西和賀町 老人医療費無償等生命行政について、
昭和30年代の沢内村村長が初めた村巡回診療が
初めとする生命行政。看護師による、原付バイクでの村内巡回
老人を対象とした医療のやり方に感銘を受けた。

その精神をいまだにひきつぎ、老人医療費の無償化に取り組む
西和賀町はすごいと感じた。今現在、沢内村と湯田町
が一つになった西和賀町。町立病院も完備され、医療面
では、類を見ない取り組みはすごい所がある。

町財政も終る問題ではあるが、我々大石田町でも
今後取り組む必要がある問題だと痛感した視察で
あったと思う。三者三様それぞれにメリットを見出し
見習うべき所はしっかりと継承していかねければ
この大石田町も消滅可能性自治体になっていっ
てしまうように思えてならない。